

「オープンサイエンスのためのデータ管理基盤ハンドブック作成のためのアンケート」
へのご協力をお願い

2021 年 12 月 20 日

オープンサイエンスを推進するデータ基盤とその利活用に関する検討委員会
委員長 喜連川 優

近時の学術研究においては、分野を問わず、多種多様なデータを取り扱うことが増えております。データの利活用は、今後の学術研究を加速度的に進展させるために極めて重要な役割を果たしますが、取扱いを誤ったときには研究の中止や研究成果の撤回に追い込まれるといったリスクも増える等、その取扱いは容易ではありません。研究者の皆様からは、とりわけ個人情報を含むデータに関するルールが複雑で分かりにくく、その取扱いを躊躇するといった声が聞かれます。さらに、2022 年 4 月から施行される新たな個人情報保護法においては、公的部門・民間部門を問わず学術研究分野の規律が統一されるとともに、安全管理措置等の規定の適用を受けことになることから、学術研究機関等におけるデータガバナンス体制の構築が求められているところです。

国立情報学研究所(NII)では、科学技術・イノベーション基本計画(令和 3 年 3 月 26 日閣議決定)に基づき、研究データの管理・利活用のための我が国の中核的なプラットフォームである研究データ基盤システムの一部として研究データ管理基盤(以下、「データ管理基盤」という)の整備を進めておりますが、上述の法制度に起因する混乱を避けるべく、文部科学省と連携の下、「オープンサイエンスのためのデータ管理基盤ハンドブックにかかる検討会」(別紙参照。以下、「同検討会」という)を設置し、データを取扱う際の注意点を丁寧に纏めた研究者のためのハンドブック作成を目指しているところです。

一方、「オープンサイエンスを推進するデータ基盤とその利活用に関する検討委員会」では、前期の議論を発展させ、今期には、オープンサイエンスにおけるデータに焦点を当てた議論を進めておりますが、各部の委員とともにデータに関する諸課題を議論する中で、上述のデータに関する法的制約について同様の問題が認識されるに至りました。そうした中、同検討会の作成するハンドブックはNIIのみならず広く学術研究機関一般での利活用を想定し、アカデミア全体に有益なものであることから、当委員会と同検討会が協力し、アンケート調査を実施させていただくこととなりました。

日本学術会議の会員・連携会員の皆様からのより広く、かつ、より高い視座からのご意見を踏まえ、研究の過程で研究者の皆様が感じる疑問や不安に対して具体的な考え方を示すことができると考えます。これにより、本ハンドブックが多様な学術研究におけるデータの取扱いの参考資料として、日本の学術の発展に大きく資するものと考えております。菱田副会長からも、主旨にご賛同を頂くとともに、「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」の実現に向けて両者が積極的に連携するようご指示を受けております。

本アンケートは、研究者の皆様が研究の現場で、個人情報を含むデータの取扱いについて、どのような問題点、課題意識をお持ちなのかをお伺いするものです。困っていること、悩んでいることをできるだけ具体的に記述していただくことが、研究者の皆様の役に立つハンドブックの作成につながるのと同時に、オープンサイエンスの推進にも資するものと考えておりますので、ご多用のところ恐縮ですが、ご協力を賜われますと幸甚です。

また、もしよろしければ、ご関係の学協会にも、本アンケートについてお知らせいただき、協力を呼びかけていただければありがたく存じます。

本アンケートについてご不明の点やご要望等がございましたら、どうか遠慮なく下記提出・お問い合わせ先までご連絡くださいますよう、お願いいたします。

提出・お問い合わせ先: 国立情報学研究所 アンケート事務局<opensciencesec@nii.ac.jp>

(別紙)

オープンサイエンスのためのデータ管理基盤ハンドブックにかかる検討会について

2021 年 12 月 20 日

国立情報学研究所所長 喜連川 優

次世代研究データ管理基盤におけるデータ利活用のために、これまでとは異なるデータガバナンスが求められます。このため、個人情報保護をはじめとして、著作権や特許等の知的財産権も含めた広い視点を踏まえて、次世代研究データ管理基盤の利用者が円滑にデータの利活用を進められるよう、下記のように様々な分野の有識者を構成員として実態把握及び課題検討を行い、解説のためのハンドブックを作成することとしました。

2021 年 9 月より別紙のとおり、国立情報学研究所のメンバーに加え、学識経験者・法曹界・企業・官界等の構成メンバーにて検討を開始しました。これまで概ね月 1 回程度の会合を重ねており、年度内にハンドブックの第 1 版の完成を目指しております。

検討会は構成員に自由闊達な意見を述べていただくため非公開とし、必要に応じて外部の関係者の話題提供を受けております。

座長	喜連川 優	国立情報学研究所所長
構成員	生貝 直人	一橋大学大学院法学研究科准教授
	石井 夏生利	中央大学国際情報学部教授
	岡村 久道	英知法律事務所 弁護士
	奥邨 弘司	慶應義塾大学大学院法務研究科教授
	佐藤 健	情報学研究所情報学プリンシプル研究系教授
	宍戸 常寿	東京大学大学院法学政治学研究科教授(座長代理)
		国立情報学研究所客員教授
	高橋 克巳	NTT 社会情報研究所チーフ・セキュリティ・サイエンティスト
		国立情報学研究所客員教授
	西貝 吉晃	千葉大学大学院社会科学研究院准教授
	森 亮二	英知法律事務所 弁護士
		国立情報学研究所客員教授
	山地 一禎	国立情報学研究所教授
		オープンサイエンス基盤研究センター長
(文部科学省)		
	川口 悦生	文部科学省研究振興局参事官(情報担当)
	三宅 隆悟	文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付学術基盤整備室長
	神部 匡毅	文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付参事官補佐
	上村 理	文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付専門官

(事務局)

KDDI 総合研究所